

セカンドライフ農活基礎講座を開催しています

1月17日（金）に佐久合同庁舎においてセカンドライフ農活基礎講座の開講式及び第1回講座を開催しました。佐久市近郊からの参加者が多い中、長和町や北相木村からの参加者もあり、総勢34名の方に参加いただきました。

開講式では、普及センターの桜井次長より、本講座を通じて栽培技術を勉強し、本格的な農業生産、出荷をすることで、収入につなげてほしいとのあいさつがありました。さらに、参加者に簡単な自己紹介をしてもらい、定年退職前ではあるが栽培の勉強を始めたいといった方や、現在栽培しているが思ったような栽培が困難で、もう一度基礎から勉強したいといった方など、状況は様々でしたが本講座を通じて栽培技術の基礎を習得してほしいと考えています。

第1回講座では、「セカンドライフ農活の事例について」として、定年退職後に就農し、栽培も成功されている方2名を事例発表者としてお招きし、就農動機や就農経緯、就農してから実際に苦労されたこと等についてお話しいただきました。実際の体験談としてのお話しでしたので、参加者の方からも非常に参考になったとの感想をいただきました。

また、「土づくりの基礎について」及び「農薬の取り扱いについて」と題して、普及センター竹澤担当係長より、土壌の構造や土づくりの方法、農薬を取り扱う上で注意しなければならない点などについてお話ししました。

また、1月23日（木）には第2回講座として、「水稻・麦・大豆・そばの栽培について」及び「農作業安全について」と題して、普及センター宮原主査より、お米を取り巻く情勢や水稻・麦・大豆・そば栽培の基礎知識、身近な農作業事故の事例、農作業安全対策についてお話ししました。



開講式あいさつ（桜井次長）



セカンドライフ農活事例発表



土づくりの基礎について（竹澤担当係長）



水稻・麦・大豆・そばの栽培について（宮原主査）